
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 145 号(2025.1.22)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 145 号をお届けします。

第 145 号の目次

1 活動組織の活動紹介

☆いきいき^{はせがい}箸^{たかぐんたかちょう} (兵庫県多可郡多可町) ☆

景観形成を目的とした花苗の植栽や伝統文化の継承など、幅広い活動を実施しています!

☆中村みどりの会 (愛媛県^{しこくちゅうおうしどいちょうなかむら}四国中央市土居町中村) ☆

毎年春に、非農家を含む 200 名以上の参加者のもと、一斉川ざらえ (水路の泥上げ) を実施しています!

2 活動組織の代表者へのインタビュー

☆今^{いまじん}神^{ふじし}倶楽部 (静岡県富士市) ☆

ドーム菊を植栽することで良好な農村景観を形成しています! 今では地域の観光スポットとしても取り上げられています!

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆三区^{さんくちょう}町^{なすしおばらし}環境保全隊 (栃木県那須塩原市) ☆

SNS (フェイスブック) を活用した広報活動を行っており、活動内容や植栽した花の開花時期など、タイムリーな情報を共有しています!

4 令和 7 年 1 月～3 月の多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました!

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～いさいさ^{はせがい}箸荷(兵庫県^{たかくんたかちょう}多可郡多可町)～ ■

～ 地区概要 ～

当地区は、多可町の北部に位置し、兵庫県が認定する住民協定制度の第1号となる「箸荷景観むらづくり協定」による地域づくりとして、農道等に花苗を植栽したり、建物も景観に配慮したりするなど、農村風景を守り続けています。活動範囲は、田 22.0 ha、畑 0.8 ha です。



スイセンロード

～ 主な取組 ～

- ◎ 毎年2月11日に五穀豊穰を願う百々手（ももて）祭りを開催しており、農村文化の伝承を通じたコミュニティづくりに繋がっています。
- ◎ 多可町主催の「地域共生社会づくり研修」や「集落女性防災リーダー研修」に活動組織のメンバーが積極的に参加するなど、人材育成に努めています。
- ◎ 非農家も参加して、草刈りや水路の泥上げなどの施設の保全管理を実施しているほか、活動組織を構成する営農組合では7.6haの農地で、化学肥料・化学農薬を5割低減した水稻栽培にも取り組んでいます。
- ◎ 施設の長寿命化を図るため、点検及び機能診断を実施しており、必要に応じて水路の補修等を一部直営施工で実施しています。



百々手（ももて）祭り



環境に配慮した水稻栽培



水路補修の様子

編集担当 SDGs コメント

多可町主催の「集落女性防災リーダー研修」等に組織のメンバーが積極的に参加されていることから、目標5（女性の参画により、地域や活動組織の取組の可能性を広げる。）に貢献しています。また、非農家も参加して、草刈りや水路の泥上げなどの施設の保全管理を実施していることから、目標16（多様な主体の参画による地域づくりを促進する。）にも繋がります。

これからも、様々な方が参画する、地域一体となった活動を応援しています。



■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

なかもら かい しこくちゅうおうし どいちょうなかもら ～中村みどりの会(愛媛県四国中央市土居町中村)～ ■

～ 地区概要 ～

愛媛県東部に位置する四国中央市の中村みどりの会は、田 16ha、畑 0.5ha、水路 13.2km、農道 11.5km、ため池 3 箇所を活動範囲としています。この地域では、主に米や、四国中央市土居町の特産品である里芋などを栽培しています。

～ 主な取組 ～

- ◎ 中村みどりの会では、水路の泥上げや草刈りなどの活動に、非農家を含む多くの地元住民が参加しており、特に毎年春に行われる「一斉川ざらえ(水路の泥上げ)」には 200 名以上が参加しています。(令和 5 年度の参加者数は 287 名)

- ◎ この一斉川ざらえでは、中村地区の自治会を通じて、農家に限らず広く地域住民の参加を呼び掛け、中村地区内の水路を分担して清掃を行います。また、自治会を通じて、作業に使用する重機やトラックなどを手配しています。

- ◎ 近年、農家の高齢化に伴い、農業者のみでの農地や水路等の保全活動が困難になってきていることが課題でした。しかし、多面的機能支払の活動への参加を通じて幅広い世代間で地域の繋がりが強化され、担い手の育成にも良い影響をもたらしています。



中村地区の風景



一斉川ざらえの様子



自治会を通じて手配した重機



ため池の草刈りの様子

編集担当 SDGs コメント

水路の泥上げや草刈りなど、地域資源の適切な保全管理を行うことは、目標 2（持続可能な農業生産を支える。）に貢献しています。また、一斉川ざらえには、地元住民が多く参加していることから、目標 16「多様な主体の参画による地域づくりを促進する。」にも貢献しています。

今後もこれらの活動を継続し、地域の繋がりが更に強化されていくことを応援しています。



■2. 活動組織の代表者へのインタビュー ～いまじん 倶楽部(静岡県富士市)～ ■

組織の概要

富士市の中央部に位置する本地域は、富士山麓の南斜面に広がる茶としきみを中心とした樹園地帯であり、県内でも有数の「根付きしきみ」の産地となっています。

平成21年に畑地帯総合整備事業が完了し、畑地かんがい用水が確保されたことを契機に活動組織が設立されました。

農地や農業用施設の維持管理、ドーム菊の植栽、鳥獣害防護柵の設置等を実施し、地域の活性化を図っています。

～ インタビュー ～

Q：組織名の由来は何ですか。

A：今宮地区と神戸地区が一緒になって活動組織を立ち上げたため、両方の地区の頭文字をとって今神倶楽部としました。読み方については、ジョン・レノンの「イマジン」にかけて読み方を「いまじんくらぶ」にしました。

Q：組織を立ち上げたきっかけを教えてください。

A：平成21年に畑地総合整備事業が完了したことを契機に、農道や畑地かんがい施設の維持管理を目的として設立しました。本地域を含めた静岡県富士市は「富士のしきみ」と呼ばれる「根付きしきみ」の一大産地であり、全国シェア90%を誇っています。品質の良い「根付きしきみ」の生産には、まめな剪定や植替えが必要であり、作業は重労働ですが、共同活動で維持管理された畑地かんがい用水のおかげで安定的に生産活動を行うことができます。

Q：どのような活動をしているのか教えてください。



富士山と駿河湾の絶景が楽しめる今宮神戸地区
ドーム菊とは小菊の一種で、直径50～100cmほどの丸形になり、1株に4,000個ほどの花を咲かせます。10月下旬から11月上旬が現頃です。毎年8月13日に行われる「今宮火祭り」も多くの人出で賑わいます。邑のいたるところから雄大な富士山や駿河湾を眺めることができる今宮神戸地区に、ぜひ遊びに来てください！

い ま じ ん 倶 楽 部

渡邊 弘康 さん

富士市今宮で生まれ育つ。今神倶楽部の会長。高校卒業後、農業を継いで農業に従事。に次いでしきみを栽培している。

川口 博之 さん

富士市今宮出身。農やうして実家の農業を継ぎ、しきみとお茶づくりに勤む。今神倶楽部の事務局として尽力。

代表の渡邊さん（左）
事務局の川口さん（右）



獣害防護柵の設置

A：メインの活動は農道や畑地かんがい施設の維持管理ですが、幹線道沿いの農地において植栽活動を実施したり、近年増加している鹿の獣害防止を目的に獣害防護柵を設置したりしています。さらに、畑地かんがい施設を防火用水としても利用していることから、中学生を含む地域住民と畑地かんがい用水を使った防災訓練も実施しています。



防災訓練の様子

Q：特に力を入れている活動は何ですか。

A：新東名の開通に伴い、通行する車両数が増加しましたが、本地区には観光スポットなどありませんでした。そこで、何か目玉になるものをつくりたいと考え、地区内の菊農家と協力して、見栄えの良いドーム菊を幹線道路沿いの農地に植栽しています。

今では、ドーム菊の植栽技術も向上しており、ドーム菊で富士山を描いています。富士山や駿河湾が望める場所なので地域外からも多くの方が訪れる観光スポットになりました。

最近では、新聞記事に掲載されたり、NHK ニュースで紹介されたりするなど様々なメディアに取り上げられています。Google マップ上でもマーカー（ドーム菊（今宮）、（神戸））がついていますので、11月の見頃の時期にお近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



駿河湾をバックにしたドーム菊

Q：活動組織のリーダーへ伝えたいことはありますか。

A：設立当初から、強引に参加を呼び掛けたりせず、活動に参加できる人で実施しています。参加したくなるような活動を実施することが、参加者を増加させ、活動を長続きさせる秘訣だと思っています。



富士山をバックにしたドーム菊

編集担当 SDGs コメント

中学生を含む地域住民と畑地かんがい用水を使った防災訓練を実施していることから、目標 17（地域協働の力により目標を達成する。）に貢献しています。また、ドーム菊の植栽等の景観形成活動により、地域住民以外の方が来訪する地域資源を創出していることから、目標 8（地域における所得向上や雇用の確保を図る。）にも貢献しています。

これからも、多面的機能支払の活動を通じて、地域の活性化が図られることを応援しています！



■3. 活動組織の活動の啓発・普及紹介 ～^{さんくちょう}三区町環境保全隊(^{なすしおぼらし}栃木県那須塩原市)～■

SNS (フェイスブック) による広報活動の概要

- ◇ 活動の度にフェイスブックを更新し、活動の紹介を行っています。
- ◇ 写真を多数掲載すること、活動後スピーディーに投稿することにより、活動内容の実感が湧きやすいようにしています。
- ◇ フェイスブックの投稿とは別に広報誌も年6回作成し、全戸に回覧配布しています。
- ◇ フェイスブックと広報誌の両方で広報活動を実施することにより、多くの方に活動の内容を知っていただき、活動への理解を促しています。

～工夫しているポイント～

- ポイント1：活動の度にフェイスブックを更新し、活動内容を紹介
- ポイント2：フェイスブックの投稿に加え、広報誌を発行

ポイント1 活動の度にフェイスブックを更新し、活動内容を紹介

植栽した花の開花時期や植栽場所をスピーディーに発信することが、見学者の増加に繋がっています。また、活動の様子が伝わりやすいように写真を多数掲載しています。



三区町環境保全隊
2024年4月12日

～三区町環境保全隊&NPO法人三区町地域資源・環境保全会活動～
三区町環境保全隊が植栽し管理している畑(約15a)・約70mの畦畔・約300mの農道の芝桜がキレイに咲きはじめました。
農業用水路沿い約1.8kmの水仙ロードも咲きはじめました。
芝桜畑の場所は、国道4号線を宇都宮方面から来る場合は野崎の工業団地を過ぎてから約3～4分の二区町交差点(横断歩道橋)を左折、約200m走り細い道路を右折し約100mで到着。駐車禁止と駐車場の看板があります。
水仙ロードは、宇都宮方面から来る場合は4号線沿いにある“みのり”を左折、“三区町内の西郷農業用水路”沿いです。



三区町環境保全隊
2024年4月26日

～芝桜畑がキレイです～
4月26日(金)
三区町環境保全隊が管理している約15aの芝桜畑が満開は過ぎましたが、まだきれいに咲いています。



■4. 令和7年1月～3月の多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！■

月	所管	開催日	都道府県名	シンポジウム等の名称	主催者	備考
1月	東北農政局	1月23日	山形県	農業農村の未来シンポジウム	山形県	・問合せ先 023-630-2218 ・会場:山形国際交流プラザ(山形ビックウイング) 2階大会議室(山形市平久保100番地)
	東北農政局	1月10日	山形県	若手・女性等事務担当者養成研修	山形県推進協議会	・問合せ先 023-647-8851 ・会場(村山会場):山形県土地改良事業団体連合会本所(山形市松栄一丁目7-48)
	東北農政局	1月16日	山形県	若手・女性等事務担当者養成研修	山形県推進協議会	・問合せ先 023-647-8851 ・会場(置賜会場):山形県土地改良事業団体連合会置賜支所(南陽市三間通関口前463-1)
	東北農政局	1月24日	山形県	若手・女性等事務担当者養成研修	山形県推進協議会	・問合せ先 023-647-8851 ・会場(最上会場):山形県土地改良事業団体連合会最上支所(新庄市大字鳥越字向平1394-2)
	東北農政局	1月28日	山形県	若手・女性等事務担当者養成研修	山形県推進協議会	・問合せ先 023-647-8851 ・会場(庄内会場):山形県土地改良事業団体連合会庄内支所(東田川郡三川町大字横山字袖東4-1)
	中国四国農政局	1月30日	島根県	令和6年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in しまね	島根県農地・水・環境保全協議会	
	九州農政局	1月29日	宮崎県	令和6年度 日本のひなた多面的機能推進大会	宮崎県多面的機能推進協議会	・問合せ先 0985-24-3361 (宮崎県多面的機能推進協議会事務局) (協議会HP掲載: http://nouchimizu-kyougikai.com/archives/2020) ・県のHPにて公開予定(公開時期は未定)
	九州農政局	1月28日	熊本県	令和6年度(2024年度)みどりのむらづくりフォーラム	熊本県	・問合せ先 096-333-2378 (熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課)
2月	北陸農政局	2月6日	新潟県	多面的機能支払交付金に係る次世代リーダーのための情報交換会	新潟県農地部農村環境課	・問合せ先 025-280-5367 (新潟県農地部農村環境課) ・会場:フラザ萬象(福井県敦賀市)
	北陸農政局	2月17日	新潟県	多面的機能支払交付金に係る次世代リーダーのための情報交換会	新潟県農地部農村環境課	・問合せ先 025-280-5367 (新潟県農地部農村環境課) ・会場:高崎アリーナ(群馬県高崎市)
	関東農政局	2月14日	栃木県	草刈研修会	栃木県	・問合せ先 noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp (栃木県農政部農村振興課) ・1/29以降に栃木県HPIに公開予定
	近畿農政局	2月15日	奈良県	農村振興シンポジウム	奈良県	・問合せ先 ①06-6131-6100 (農村振興シンポジウム事務局(大毎広告(株)内)) ②0742-27-7453 (奈良県農村振興課) 奈良県HP、SNS(LINE、X、Facebook)に公開予定 詳細はこちら→ https://nouson-sinkou-nara.com
	中国四国農政局	2月12日	鳥取県	令和6年度多面的機能支払研修会	鳥取県農地・水・環境保全協議会	・問合せ先 0857-38-9500 ・HPIに公開予定 http://www.totirengonet.or.jp/kyogikai/
	九州農政局	2月5日	長崎県	長崎県多面的機能支払活動組織の集い	長崎県農地保全推進協議会	・問合せ先 095-816-3636 (長崎県農地保全推進協議会事務局)
	九州農政局	2月6日	大分県	大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム	大分県多面的機能支払推進協議会	・問合せ先 097-536-6631 (大分県多面的機能支払推進協議会事務局)
3月	関東農政局	3月6日		令和6年度関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰表彰式	関東農政局	プレスリリース予定
	関東農政局	3月10日	栃木県	令和6年度多面的機能支払交付金に係る活動組織研修会	栃木県農地水多面的機能保全推進協議会	・問合せ先 waki638@tcgdoren.or.jp (栃木県農地水多面的機能保全推進協議会)
	沖縄総合事務局	3月13日	沖縄県	沖縄県多面的機能活動組織の集い	沖縄県多面的機能保全推進協議会	・問合せ先 tamen-okinawa@dokairen-okinawa.jp

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。今回のメールマガジンでは、今神倶楽部の代表者の方にインタビューを行いました。景観形成を目的にドーム菊を植栽するなど、地域の方が自発的に参加したいと思えるような活動を実施しています。活動への参加を強制することなく、自然に人が集まる状況は、これからも長く活動を続けていく上でとても大切なことだと思います！

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。次回のメールマガジンもお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nousin_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイデアシート（案）◇

SDGs アイデアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：青木、土田）

TEL：03-3502-8111（内線 85683）
